

## (1)林業の生産性向上

## ① 林業の生産性向上対策

プロジェクト 緑豊かな森林づくりによるCO<sub>2</sub>吸収力の強化

## 目 標

・ 再造林率	R4 : 32%	→	R10 : 40%
・ 間伐面積	R4 : 1,873ha	→	R10 : 2,400ha
・ コンテナ苗生産量	R4 : 96万本	→	R10 : 120万本
・ 森づくり協定締結	R4 : 26団体	→	R10 : 36団体
・ 林内路網延長	R4 : 1,291km	→	R10 : 1,315km

## 挑戦する内容

- ・ 意欲のある林業事業者が行う森林の集約化や路網整備、低コスト再造林の支援
- ・ コンテナ苗出荷率向上に向けた生産技術の習得支援
- ・ スギ特定母樹種子の計画的な増産と苗木生産者への安定供給
- ・ 花粉症対策としてのスギ人工林の伐採・植え替えの促進
- ・ 植林や育林活動に意欲的な企業等の森林経営への参画の促進
- ・ 子供たちの理解・関心を高めるための体験型森林環境教育の推進
- ・ 市町村林政業務の総合的な支援

関係者の声  
＝対話

- ・ 立木価格が低迷しており、経営意欲が湧かない（森林所有者）
- ・ 森林所有者は伐採後の再造林に消極的（林業事業者）
- ・ コンテナ苗の生産技術をしっかりと習得したい（苗木生産者）
- ・ SDGs等 に貢献するため森林づくりに関わりたい（企業等）
- ・ 室内での勉強より現地で見ると触った方が分かりやすい（子供たち）
- ・ 市町村の林政業務について、県のサポートが必要（市町村）

## 役割分担

- ・ 森林所有者、森林組合、林業事業者、企業等：森林づくりの実施
- ・ 県、市町村：森林づくりの支援、普及啓発、各種調整

## 変革後の姿

- ・ 再造林や間伐等の森林整備を適切に実施することで、CO<sub>2</sub>の吸収・固定や水源のかん養など、森林の持つ多面的機能が高度に発揮
- ・ 市町村林政業務の円滑化

## 令和7年度計画

## 挑戦する内容

- 1 意欲のある林業事業者が行う森林の集約化や路網整備、低コスト再造林の支援
  - ・ 森林の集約化に係る経費及び再造林経費を支援
  - ・ 林道、森林作業道など路網整備の推進（林道5路線うち新規1路線）
- 2 コンテナ苗出荷率向上に向けた生産技術の習得支援
  - ・ 生産技術向上を目的とした研修会等を開催
- 3 スギ特定母樹種子の計画的な増産と苗木生産者への安定供給
  - ・ 採種園の適正な管理及び種子の需給調整を実施
- 4 花粉症対策としてのスギ人工林の伐採・植え替えの促進
  - ・ 特定母樹苗木の普及と計画的生産を実施
- 5 植林や育林活動に意欲的な企業の森林経営への参画の促進
  - ・ 企業が所有する森林の現況調査の支援
- 6 子供たちの理解・関心を高めるための体験型森林環境教育の推進
  - ・ 参画しやすい企画立案や技術面のサポートの強化を実施
- 7 市町村林政業務の総合的な支援
  - ・ 市町村林政業務のサポート体制の構築
  - ・ 市町村林政業務の担い手となる地域林政アドバイザーの養成



緑豊かな森林づくり



関係者一丸となって再造林を推進

## 対話

- ・ 部会を開催し、事業の進捗状況を把握するとともに、意見を参考に事業構築（7月、1月）
- ・ 林業事業者を対象したヒアリングや担当者会議において、再造林推進施策を検討（随時）
- ・ コンテナ苗の生産技術向上等に向けた研修会等において、関係者と意見交換し、指導内容に反映（9月）
- ・ 林業種苗需給調整協議会において、関係団体と情報共有し種苗生産計画に反映（12月）
- ・ 企業へのアンケート調査の結果を活用し、現況調査のアプローチを把握（5月～）
- ・ 森林環境教育を実施した際の子供達の意見や感想を取りまとめ、企画立案に反映（11月）